

委員会報告

2022年度総務委員会は定例会の設営、運営を行うことと、各種事業内容をより気軽に不特定多数の方々が見覧できるSNSでの柔軟で開かれた組織の発信に重点を置き運動を展開してまいりました。

4月定例会では、JCI能代として持続可能な社会実現の為に、会員それぞれがSDGsを積極的に推進する事を目的に、【#SDGs私たちが未来の為に出来る事】と題し、SDGsパートナー認定を受けた成田監事、佐藤理事長、平川委員長より講演頂き、職種によって、SDGsターゲットの違いや登録によるメリット、デメリット、社内運用の実情などリアルな現状を聞き取る事で、よりSDGsに対する理解が深まったと考えます。その上で第二部では自分が何が出来るのかを会員それぞれが考え、目標カードに書き出し、絶対にやるという強制ではなく、あくまでも目標にしたことでハードルを下げ気軽に且つ前向きに取り組もうというきっかけになったと考えます。そして対外へ、第二部での取り組み目標での撮影者全員（SNS発信了承者のみ）をJCI能代公式Instagramアカウント並びにフェイスブックリンクにて情報発信を行いました。閲覧された方より「頑張ってください」とのコメントや多くのいいね!をいただき、持続可能な社会実現へ向けて微力ながら運動を展開出来たと振り返ります。しかしながら委員長個人としては初の事業だったにもかかわらずコロナ関連で欠席となり無念でした。その上で委員長不在の中、委員の協力のもと大きな影響もなく無事に事業を終えた事は本当にメンバーに感謝しております。

8月定例会は会員交流事業として【紳士のスポーツで絆を深めよう！JCI能代みんなでゴルフ】と題しメンバーの事をより深く知り、懇親会やビジネスシーン以外での姿を見る事でより絆を深める事を目的に行いました。会員候補者を交えたプレイ中での交流によりその後の懇親会では大いに盛り上がりその場で入会申込み書を頂き、今事業の雰囲気をもたらした結果であり、初心者メンバーでも事業後にクラブ購入をしたりと今後ビジネスシーンにおいて発展性のある事業になったと振り返ります。

最後になりますが、私を委員長に任命し成長の機会を与えてくれた佐藤理事長には感謝申し上げます。そして悩んだ時に寄り添ってくれた伊藤副理事長と頼りない委員長の私に嫌な顔せず常にサポートしてくれた委員に心より感謝を申し上げます委員会報告といたします。ありがとうございました。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
1月 8日	年次資料・会員名簿作成		-
4月26日	4月担当例会事業【#SDGs 私たちが未来の為に出来る事】	能代市中央公民館 第5研修室	-
7月14日	選挙管理委員会設置	事務局	-
〃	理事長監事選出委員会選出委員選挙	事務局	-
7月26日	5% 理事選挙	農園りすとらんで ハーベリー	-
8月28日	8月定例会 会員交流事業【紳士のスポーツで絆を深めよう！JCI 能代みんなでゴルフ】	能代カントリークラブ	-
翌1月14日	広報誌「松原」発行		-
通年	SNS の発信		-
通年	ホームページ及びデータ記録管理		-
通年	総会並びに定例会セレモニー運営		-
通年	会員拡大運動		-

【定例会出席率】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
81%	77%	70%	66%	59%	74%	59%	52%	77%	63%	51%	74%

決 算

項目	金額
・4月担当例会事業【#SDGs 私たちが未来の為に出来る事】	21,010円
・8月定例会 会員交流事業【紳士のスポーツで絆を深めよう！JCI 能代みんなでゴルフ】	84円
・広報誌「松原」発行	68,200円
合計	89,294円

## 育成委員会

委員長 平川 真実

### 委員会報告

2022年度育成委員会は、次代の希望となる子供達が目まぐるしく変化する社会を前向きに受け止め、今よりも主体的に未来を見据えて行動する子供達で溢れる地域を目指し、3回の定例会を関連付けて実施いたしました。最初に行った2月定例会では、ひとつの出来事や事実に対して、幅広い視点で考える力を養うとともに、強固な精神力を醸成、維持することを目的として行いました。人は物を使って考える、あるいは手を動かして考える時、創造的なエネルギーや創造的な思考、ものの見方が引き出されるという理論をもとに、レゴブロックを媒体としてリフレーミングを学ぶためのグループワークを行い、レジリエンス力を高めるきっかけ作りを行いました。使用したレゴブロックは、SDGsへの取り組みの一環として、能代市の公共施設へ寄付いたしました。

対外事業を兼ねた6月定例会では、絵本ワークショップ研究者の寺島知春氏を講師としてお招きし、非認知能力に触れ、知識と感心を深めることを目的とした親子で参加できるワークショップ講演を行いました。絵画制作活動を通して参加した子供達の非認知能力を高めるきっかけとなったと同時に、非認知能力を高めることの大切さを子育て中の大人が学ぶきっかけとなったと思います。

育成委員会最後の例会は、子供達の主体性を育むことを目的とし、お弁当作り挑戦してもらった事業を行いました。親元を離れ、自分ひとりの力で考えてお弁当を作り上げるといった課題に果敢に立ち向かう子供達の姿を見て、メンバーも良い距離感を保ちながらアシストすることができました。親御さんへの情報発信として、ライブ配信も行いました。映像と完成したお弁当を見た保護者の皆様から、子供達の力を改めて感じたという感想をいただきました。

事業や定例会を通して、子供達の生きる力をたくさん感じる事ができました。そんな子供達を見て改めて感じたことがあります。それは、子供達が明るい未来を描き、そこへ向かって安心して歩いていくことができるような、架け橋を私たち大人は作っていく責任があるということです。未来、希望に向かって歩いていると、揺れ動いたり、躓いてしまふようなことがたくさんありますが、それでも大人が温かく見守り、手を差し伸べ、背中を押してあげることによって前へ前へと進んで行くことができると思います。

子供達が、思い描く未来へ向かって前進していくことができる小さな架け橋を作ることができたのではないかと振り返ります。

最後になりますが、青年会議所で初めて委員長を務めさせていただき、多くの学びを得ることができました。理事長の思いをしっかりと受け止め、次代を担う子供達のためにできることを形にすることの大変さを痛感しました。しかし、委員長としての思いがメンバーに伝わり、それが形となることで充足感も感じる事ができました。私を育成委員会の委員長に任命してくださった佐藤理事長のおかげで、苦悩を乗り越える力を更に高めることができたと思います。ありがとうございます。また、最後まで優しく寄り添い、支えてくださった大森副理事長をはじめ、委員会メンバーの皆様へ感謝し、委員会報告とさせていただきます。

### 事業報告

日付	内容	会場	公益性
2月22日	2月定例会 ミラクルテクニック～レジリエンス力を高めよう～	オンライン	—
6月26日	6月定例会『非認知能力をはぐくむ絵本ガイド180』著者が贈る子供の心の動きを感じながら、非認知能力を知るワークショップ講演会 —なが～い絵をみんなで描こう！—	アリナス研修室	○
10月30日	10月定例会マイ弁当を作ろう～地産地消のしろ山本弁(当)～	南部公民館	○
通年	天空の不夜城協議会への協力対応		—
通年	会員拡大運動		—

### 決算

項目	金額
・2月定例会「ミラクルテクニック～レジリエンス力を高めよう」	23,100円
・6月定例会「非認知能力をはぐくむ絵本ガイド180著者が贈る子供の心の動きを感じながら、非認知能力を知るワークショップ講演会 —なが～い絵をみんなで描こう！—	195,424円
・10月定例会マイ弁当を作ろう～地産地消のしろ山本弁(当)～	37,574円
合計	256,098円

## 拡大委員会

委員長 飯坂 隼

### 委員会報告

2022年度拡大委員会は、拡大運動を行う上で、能代青年会議所の現状を再認識し今後のJC運動を継続していくために全会員が当事者意識を強くもち、今まで以上に拡大の必要性をもって組織を強化していくことを目的に活動してまいりました。

まずは、一昨年度策定された中長期会員拡大計画に則り組織の強化を目指して会員拡大を展開してまいりました。会員拡大の意識を高めるために全メンバーによる会員拡大実行委員会を組織し、目標人数15名に設定し、昨年はチーム制でおこなっていた勧誘活動を、今年度は、1人ひとりによる勧誘活動に新たに導入し情報共有の円滑化を図りながら拡大運動に取り組みました。しかしながら、正会員4名、賛助会員2名、準会員1名の入会と、目標を大幅に下回る結果となりました。準会員1名が来年度より正会員となる事が決まり、組織の成長に繋がったと感じております。

次に3月定例会では、団体や業種の枠を超えた出会いから刺激を得るとともに、多くの成長の機会が提供される青年会議所の魅力を感じていただきともに活動したいと思っていただくよう、異業種交流会を企画していましたが、コロナウイルスの拡大により開催できず、「会員拡大決起集会」と事業を変更し、全メンバーの拡大運動への意識を高めるべく、JCI能代のOBでもあり、2017年度会員拡大を成功させた、拡大戦略推進会議副議長の藤田真吾先輩、後藤健二先輩をお招きし、第1部では会員拡大を成功するための手法やアドバイス、会員拡大はなぜ必要なのかを経験談を交えて講演していただきました。第2部ではその講演を踏まえたうえで、実際にメンバー同士で模擬面談を行っていただき、一人ひとりが当事者意識をもって拡大運動の必要性を理解していただきました。結果、少数ですが新入会員4名の入会に至りました。

11月には、新入会員も含め、メンバー自身がJC運動の意味と必要性の理解を深めていただくために、3月に開催できませでした異業種交流会をメンバー、シニアクラブ、新入会員、入会候補者を招いて「きずな交流親睦会」として開催しました。参加したメンバーは、生の声でJCの魅力や目的を語り合うことで、JCへの理解、メンバー同士の絆を深めることができ、新入会員は意欲的にJC運動・活動に取り組む機運を高めていただきました。

最後となりますが、私を委員長に任命してくださった佐藤裕之理事長、ときに、厳しくも親切丁寧に、いつも我々の意思を尊重しながらご指導いただいた大塚一生副理事長、私のわがままに付き合ってくれた委員メンバーの皆さん、そして、畠山慶太副理事長、鍋谷暁委員長に感謝申し上げ、委員会報告といたします。ありがとうございました。

### 事業報告

日付	内容	会場	公益性
3月25日	3月定例会「拡大決起集会」	シャトー赤坂	—
11月22日	11月定例会「きずな交流親睦会」	シャトー赤坂	—
通年	会員拡大運動		—

### 決算

項目	金額
・3月定例会「拡大決起集会」	20,000円
合計	20,000円

## 研修委員会

委員長 鍋谷 暁

### 委員会報告

2022年度研修委員会は、メンバー一人ひとりの地域の課題に向き合う意識を醸成させると共に、事業を構築し実現する能力をより一層向上させ、組織を牽引する会員を育成することを目的に活動してきました。

まず5月当例会では課題解決能力を持った会員を育成し、今後のJC運動やさらなる個人の資質向上に繋げることを目的に、秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長である水野勇気氏を講師に迎えて「秋田で活躍する経営者から学べ！ 課題解決力UPセミナー」を実施しました。水野氏に「バスケットで秋田を元気に」～ゼロからの挑戦」を演題として講演していただき、「動けば変わる」という考えから課題解決に関する知識やノウハウを学びました。またトークセッションではメンバーが講師と直接言葉を交わし、地域課題や経営課題の解決に関して議論しながら、学ぶことができました。

次に7月当例会では今後の社業とJC運動にとって有益なSDGsに関するより一層の知見と実践的な知識を獲得することを目的に、三種町の農園りすとらんでハーベリーにて「百聞は一見に如かず!!: SDGsフィールドワーク」を実施しました。株式会社Time Colors 代表取締役である伊藤晴樹氏を講師に迎え、「SDGsを日常生活から地域の活動に繋げる実践講座」を演題として講演していただきました。SDGsのターゲット番号とともにハーベリーの解説や実例の紹介をしていただき、SDGsに関する学びを深めました。また質疑応答では、オーナーの山本智氏も加わり、開業に至る経緯や想いからSDGsに関する考えを聞くことができました。

最後に常に目的意識をもち的確な判断をくだせる能力と自らの考えを的確に他者に伝える能力を向上させ、メンバー一人ひとりが社業の発展やJC運動に繋げることを目的に、若手会員対象研修事業として若手会員スキルアップ研修「ファシリテーションで地域は変わる!! 実りある会議講座」を11月に実施しました。特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 秋田サロン 畠山優介氏を講師に迎え、グループワークを中心としてファシリテーションの基礎から実践的な内容までを学びました。ファシリテーションは単なる司会・進行にとどまらない幅広い概念であることや会議におけるモードの違いなどを学び、今後の理事会・委員会運営に活かしていく意欲も見られました。その他に春・秋に黒松並木剪定という重要な事業も多くの会員に参加していただき、盛大に実施することができました。

結びになりますが、会員歴の浅い私に委員長という大任を与えていただいた佐藤裕之理事長に厚く御礼申し上げます。またときに厳しく、ときに優しくご指導いただいた畠山慶太副理事長をはじめとする委員会メンバーの皆さん、姉妹委員会の大塚一生副理事長と飯坂半委員長に感謝申し上げます。

### 事業報告

日付	内容	会場	公益性
5月24日	5月定例会「秋田で活躍する経営者から学べ！ 課題解決力UPセミナー」	旧料亭金勇	—
6月19日	春の黒松並木剪定	国道101号線沿い	○
7月26日	7月定例会「百聞は一見に如かず!!: SDGs フィールドワーク」	農園りすとらんでハーベリー	—
10月 2日	秋の黒松並木剪定	国道101号線沿い	○
11月25日	若手会員対象研修事業 若手会員スキルアップ研修「ファシリテーションで地域は変わる!! 実りある会議講座」	能代市中央公民館	—
通年	会員拡大運動		—

### 決算

項目	金額
・5月定例会「秋田で活躍する経営者から学べ！ 課題解決力UPセミナー」	35,653円
・7月定例会「百聞は一見に如かず!!: SDGs フィールドワーク」	29,498円
・若手会員対象研修事業 若手会員スキルアップ研修「ファシリテーションで地域は変わる!! 実りある会議講座」	1,210円
合計	66,361円

## 事務局

事務局長 池端 一成

### 委員会報告

2022年度事務局としては、先の未来を切り拓くために一歩先を見据え、半歩先の行動へと導く公正な会の運営という役割を果たすべく、円滑な情報共有と合意形成のしやすい運営に務めてきました。しかしながら前年度同様コロナ禍により各事業の開催方法に影響が出ていましたが、過去2年のコロナ禍での経験を活かし、柔軟に対応することができJCI能代としても一段と成長した1年でありました。

まずコロナ禍での三役・理事会議の運営については、Zoomを活用しハイブリット形式の会議を行うことで毎月開催することができました。そして理事会では限られた時間を有効に活用し活発な意見質問が飛び交う会議とするため、上程議案に対して事前意見質問をスプレッドシートで募集し、議案の精度を高めた上で会議に臨むことができました。また各月例会・事業を新聞社へ取材を依頼し記事を掲載してもらうことで、能代山本地域の方にJCI能代の運動を広く知ってもらうことができました。さらに新入会員への支援活動としては、はじめ事務局に所属していただき、佐藤理事長からJCの心構えや考え方についての勉強会、理事会見学、その上で各委員会へ配属することで入会後のフォローにつながりました。また本年度は各首長選が行われる年であり、能代山本地域では能代市長選に伴う公開討論会を開催しました。コロナ禍での首長選は初めてということもあり、会場選定、集客人数、運営方法等の準備に戸惑いましたが、皆様のご協力のおかげで無事に開催することができました。

最後に運営などで至らぬ点も多くあったとは思いますが、この1年事務局としての運営を無事に終えることができたのもメンバーをはじめ、理事の皆様、成田・山田両監事の力添えがあったからこそだと思っております。スタッフ一同心より感謝を申し上げ年間事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

### 事業報告

日付	内容	会場	公益性
1月 8日	定時総会の運営	プラザ都	—
4月 4日	能代市長選公開討論会	能代市文化会館 大ホール	○
7月 2日	褒賞へのエントリー	由利本荘市	—
9月22日	臨時総会の運営	プラザ都	—
12月17日	卒業式	松風庵	—
通年	三役会議 / 理事会への運営		—
通年	事務局財務管理 / 庶務全般		—
通年	対外事業への協力		—
通年	出向者 / 新入会員への支援活動		—
通年	事業取材依頼活動		—

### 決算

項目	金額
・能代市長選公開討論会	131,560円
合計	131,560円